

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：茨城

グループ： 1班

2020.10.27

ネットの使い方

メリット

- SNS(スタディーサプリ,youtube)を活用
- 映像授業はリピート可能
- 友達同士で協力
- すぐに調べられる

デメリット

- ・ 質問できない
- ・ 直接先生に聞けない（理解が難しい）
- ・ ネット環境が悪い

分かりづらい

テーマ2 コミュニケーションなど

分かりずらいタンプを使っていた

- ・文化祭の準備の様子を写真で出す
- ・SNSを使って友達作り
- ・とらえ方に違いが生まれる
- ・誤字脱字
- ・SNSを使ってしまいすぎ

まとめ

- ・スタンプや絵文字を使う

メリット 好印象をもたらせる 気持ちが伝わりやすい

デメリット とらえ方に限度がある

タブレットを高校でも配布してほしい

- ・ネット環境が悪い
- ・自分で整備するしかない

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：茨城

グループ： 2班

2020.10.27

ICTって誰にでも

テーマ 1 「休校期間中の学業と I C T」

- ・ 時間が決まっていない,質問する相手がいない。
- ・ ICT機器使用で視力が低下。
- ・ スマホで画面が見にくい。P Cを使えない人も。
- ・ 映像授業は停止して自分のペースで見られた。
- ・ 日常（当たり前）学校に行くのがありがたいと思った。
- ・ 将来を考える時間になった

テーマ2 「自粛期間とICTコミュニケーション」

- ・ 海外の大学の説明を聞いた。対応してくださった方とインスタでつながることができた。

⇒ 普段ならそういう体験ができない

- ・ クラスメイトとのLINEでのコミュニケーション

”みんなで見える”機能で一体感を感じた。

- ・ 知らない人と繋がることの不安。

”SNS身近な人とはメリット 見知らぬ人とはデメリット”

- ・ 無責任な誹謗中傷や発言の存在が気になった。

まとめ「私たちの提言」

PCによる効率的学習

→生徒全員がPCを持つための政策。通信環境の整備。

健康被害への対策

→視力低下などデメリットの解消を

障害者の学習におけるメリット

→先生がそれぞれの生徒にどのように対応し、教えるかを考える

オンラインによって外国が身近に

→積極的活用によるグローバル人材の育成のチャンス

誹謗中傷を減らす

→**全世代**が自分の発言に責任を持つための情報発信。法の整備。むしろ親への啓蒙

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：茨城

グループ： 3班

2020.10.27

高校生とICT

学業の視点

メリット

- ・コミュニケーションがとりやすい
- ・どこでも時間を気にせず勉強ができる
- ・友達と共同して気軽に調べることができる

学業の視点

デメリット

- ・ 自分の時間に時間を費やしてしまう
- ・ スマホに制限がかかっている場合授業を受けられない
- ・ ICT機器を持っていない場合はどうするか

学業の視点

改善点

- ・ 学校の課題は紙で配る
- ・ 家族内でルールを決める
- ・ 情報格差をなくす

コミュニケーションなど

自粛期間中でのコミュニケーション

- ・ ラインや他のSNSで文字や通話などでとっていた
- ・ 部活動のメンバーで集まって練習をしていた

コミュニケーションなど

トラブルに関して

- ・ 不適當な写真の投稿
- ・ 誹謗中傷
- ・ 相手の状況や感情が分かりにくくけんかなどにつながる

コミュニケーション

気を付けたこと

- ・ニュアンスに気を付ける
- ・返事を送る時間
- ・個人情報の取り扱い

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限時代に生きる～

茨城 グループ：4班 2020.10

テーマ1 メリット

- ・ 学校の映像授業で分かりやすく確認できる。
- ・ アプリを利用して解説を見れる。聞ける。
- ・ ネットだと第3者の意見を聞ける。

テーマ 1

デメリット

- ・ 映像授業だと意見共有ができない。
- ・ 個人情報の流出
- ・ アプリのアクセス過多によるサーバーダウン
- ・ 自宅学習時間の減少

テーマ1 改善点

知識を身につける

- ・モラルを学ぶ

個人情報特定されてしまう可能性がある

- ・すべての個人情報を公開しない
- ・ニックネームで活動する

ネットに制限をかける

- ・不正なサイトへのアクセス、ウイルスの防止

テーマ2 メリット

①雑談によるストレス発散

②メッセージで簡単にやりとりができ、コミュニケーションができる

テーマ2 デメット

1. 悪口が一方向的に言われる、言葉のニュアンス が上手く伝わらない
2. デマ情報（フェイクニュースなど）
3. 学校の休校の影響でクラスとのコミュニケーションが取れない

改善策 □ ネットのやり取りは絵文字などを活用する、身近な人とのコミュニケーションをとる

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：茨城

グループ：5班

2020.10.27

5班の熟議

学業の視点

メリット

- ・ 何度も繰り返すことができる
- ・ 解説→分かりやすい
- ・ アナログ(プリント)より視覚、聴覚的な情報

デメリット

- ・ 慣れない環境のため、使い方があやふや
- ・ だらけてしまうので自分でメリハリを付けなければならない。
- ・ 勉強する意欲がなければ、動画は無意味

デメリットから考える改善点

改善点

- ・ ルールを決めて行う

ex) スマホ等の時間

- ・ 定期的なオンライン授業
- ・ 科目ごとの対応の差→学習量の差をなくす

ex) 動画がある科目とない科目

SNSでのコミュニケーション

SNSで気をつけること

- ・ 鍵アカウントにする。
- ・ 情報を鵜呑みにしない。
- ・ 言葉に気をつける。
- ・ プロフィールに個人情報を書かない。

誹謗中傷について

もちろん人を殺してるので悪く書く方が悪いのですが、投稿する側も何を言われても良いという覚悟が必要だと思います。

悪い事を書く人間がこの世から消える事はありません。

だから、何を言われても感情的にならず冷静にいられることが大切